

# 2025年度 学校評価

学校法人 服織学園

幼保連携型 認定こども園

わらべ幼稚園

## I 経営の重点にかかわること 評価段階

(A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:まったくできていない)

表裏あり

1 園教育・保育目標: やさしく・かしこく・たくましい子		自己評価
2 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>*園の教育目標を理解し目指す幼児の姿をイメージして、保育の計画を立てる</li> <li>*子どもの発達や生活を見通して環境設定をしている</li> <li>*子どもの気持ちに寄り添い、その子の主体性を尊重する保育ができる</li> <li>*子ども一人一人をよく観察し子どもの思いやサインに耳を傾け、受け止めて保育している</li> </ul>	B
・仲間の中で成長し仲間を大切に する子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言葉や思いに寄り添い受け止めるよう</li> <li>・外遊びなどの活動を中心に保育を計画している</li> </ul>	
・丈夫な体を持つ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの主体性を尊重してきたが難しいこともある</li> <li>・ゆとりをもちながら寄り添うように心がけたが難しい面もあった</li> <li>・子どもの表れなど担任同士で共有して保育している</li> <li>・子どもの表れなど担任同士で共有して保育している</li> <li>・子どもの表情をよく見て気持ちに寄り添う保育をした</li> <li>・乳児はしぐさ・表情・喃語などからのサインを読み取って受け止め丁寧に保育した</li> <li>・よく食べ、良く寝て身体動かして元気に遊べるように心がけた</li> <li>・子どもの声に耳を傾けるようにした</li> <li>・日々の保育に追われてしまいが週案・方針などで見直し気づけるようにした</li> </ul>	

園関係者評価委員から	
評価	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべの教育理念と建学の精神を理解し個々の子どもの成長を職員が共有できている</li> <li>・様々な活動において子どもの意見を尊重し子どもが主体となって楽しめるように工夫されている</li> <li>・先生も子どもと一緒に楽しんでる姿が見られ嬉しく思う</li> <li>・外遊びの活動計画の保育をしている</li> <li>・身体づくりは成長の基本です。みんなで食べる楽しさを大切にしてほしい</li> <li>・子ども同士の関わりを大切にする保育を望みます</li> <li>・子どもの声を受けとめ寄り添ってもらえるので子どもが自分の気持ちを安心して表現できているように感じる</li> <li>・リュックの日や外遊びを通してとて体力がついている</li> <li>・先生や友達と仲良く過ごせている、大切な仲間になれていると思う</li> </ul>	

## II 各領域にかかわること

大項目	中項目	評価指標	自己評価
1 こども園における教育及び保育	0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の発達や経験を把握し理解した上でわくわくしながら園生活が過ごせるよう援助する</li> <li>・スキンシップを取り、子どもに寄り添い、安心して穏やかな気持ちで生活できるよう援助し、五感を通してやってみたいと思うような経験を広げていける環境を用意する</li> </ul>	B
	1日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップを大事にして寄り添う保育をしてきた</li> <li>・子どもが興味や夢中になるものを見つけて保育している</li> <li>・わらべうたやふれあい遊びを通してゆったり関わられるようにした</li> <li>・自分に余裕がない時やゆったり関われない事あり難しさもある</li> <li>・子どものやりたい気持ちを受けとめて安心できる存在でいられるようにしている</li> <li>・外遊び・散歩の中など自然に触れることを大切にしている</li> <li>・乳児の発達・この成長の様子等を捉えて保育計画を立てるようにした</li> <li>・子どもの遊びに入り共に遊ぶ中で遊びを深めたり子どもの発見に共に気づき楽しむようにした</li> <li>・遊びが楽しめるように声掛けや提案をしている</li> <li>・子どもの声聞き保育に取り入れ楽しめるようにしている</li> <li>・食育を通して食べ物に興味をもてるようにしている</li> </ul>	

園関係者評価委員から	
評価	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を大事にした ふれあいをのぞみます</li> <li>・リュックの日は、たくさん歩くので体力がついている</li> <li>・交通ルールについても身につけていると感じる</li> <li>・子どもの為に楽しいことを考えて準備をしてくれている</li> <li>・あそびや食育をする中で保育者と子ども、子ども同士のかかわりを通し各種環境構成の素材を生かし子どもの発達に大きな役割を果たしていると思う</li> <li>・子どもの思いや声を大切にして「やってみよう」という気持ちを引き出しながら進めていく保育が素晴らしいと思います</li> <li>・乳児が先生に甘えている姿を見て安心して過ごしていると感じた</li> <li>・子ども達が座って先生たちの話に耳を傾けている様子を見て成長を感じた</li> </ul>	

2 安全管理・ 指導	事故防止 災害対策	災害・不審者・交通安全など様々な状況を想定し、園児に安全行動を身に着けさせる	自己評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・減災教育研修での学びで災害対策について意識が高まり、再度見直していく必要を感じた</li> <li>・研修で学んだ防災知識を活かせるような行動をしていく</li> <li>・研修で学んだ事を子どもに伝えていくようにしていきたい</li> <li>・園外保育や散歩時は危険を伝え、交通ルールや歩き方を伝えるようにしている</li> <li>・安全管理も多様化し常にアンテナを張って対策の変化などに対応をしていく必要がある</li> <li>・園外に出る際は、職員に報告をしたり不測の事態に対応できるように携帯を持参している</li> <li>・担任同士で危険な場所・行動などを共有したりして連携をするようにした</li> </ul>	B
3 保健管理・ 指導	健康教育の充実	基本的な生活習慣が身につく健康に過ごそうとする	自己評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄・食事・着替えなど生活のリズムなど個々に合わせ声掛けした</li> <li>・感染対策や身の回りを清潔に保てるように声掛けを行う</li> <li>・子どものやりたい気持ちを受けて止めて援助するように心がけている</li> <li>・水分補給や排泄・衣服の調節など声掛け促すようにしている</li> <li>・看護師として、けいれん・食物アレルギーなど伝えるように知識を増やしていきたい</li> <li>・寒さに負けない体づくりをした</li> <li>・健康に過ごせるようにバランスよく体を動かし、食べるなど生活習慣が身につくよう過ごす</li> </ul>	B

園関係者評価委員から	
評価	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の防災訓練は子どもにもわかりやすく説明してくれているので、家でも災害に対する意識が高まっているように感じる</li> <li>・余裕のある人員配置が大切だと思う</li> <li>・外遊びだけでなく不測の事態は常に対応できる体制を作る事が大切。今の時代には多くの手段があり活用して対応する必要があると思います</li> <li>・常に見直して職員同士が共有する事が大切になる</li> <li>・災害時、特に地震発生時の対応をしっかり身につけている</li> <li>・園から出る時や送迎時の危険について周知を徹底してくれている</li> </ul>	
園関係者評価委員から	
評価	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日バランスの良いおいしい給食を提供してくれている</li> <li>・好き嫌いが多く食事面での心配があるが、少しずつ食べれるように対応してくれている</li> <li>・子どもが食べている給食の味を知れる機会があると嬉しい(給食参観)</li> <li>・排泄のリズムの習慣が付くように声掛けをしてくれている</li> <li>・早寝・早起き・朝ごはん生活のリズムは個々に違いはあるが、わらべは自園給食もあるので食習慣や生活習慣など身につく保育でありたい</li> </ul>	

4 特別支援 教育	(1) 支援体制づくり の推進	個々の状況に合わせ支援計画を立て全職員がかかわりを持ち援助しようとしている	自己評価	園関係者評価委員から	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しずつ形として進んできている1年に思う</li> <li>・ 個々に合わせたペースで支援していく難しさも感じる園として できることなどその都度相談し考えながら保育をしている</li> <li>・ 専門機関など支援に対して相談できる場所ができた</li> <li>・ 支援を必要とする子が増えているので保育者が足りないと感じることがあった</li> <li>・ 幼児・乳児の気になる子を全職員で共有し理解は難しいところがある</li> <li>・ 子どもの姿を見て気づいた事など職員同士で話し合い必要な援助が出来るように 保育している</li> <li>・ 週案・日案に子どもの記録を書きとめて見返しができるように個人記録を取ってきた</li> <li>・ 乳児クラスの間では乳児全体の共通理解が持っていた</li> <li>・ 幼児クラスでは総括・週案などで、共有することをしていた</li> <li>・ 支援が必要な子に対しその日の様子や機嫌、成長に応じての個別対応の難しさを感じる</li> <li>・ 週又は月に1回ケース会議など職員で話し合う場があると良いと思った</li> </ul>	B	評価	B
5 研修	(1) 研修体制の 充実	「わらべ独自の保育」どんな遊び・環境・子どもの成長への手立て具体的な 共通理解を進めているか	自己評価	園関係者評価委員会から	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年3回の園内研修で保育について職員で共有しながら学んでいる</li> <li>・ 減災教育の研修で、知る事の大切を知り何をしなければ ならないのかに気づきとても学びになった</li> <li>・ 園内外のいろいろな研修に参加し保育に活かし伝えていきたい</li> <li>・ 減災研修の学びを子どもたちに伝えたり今後の防災訓練に いかしていきたいと思った</li> <li>・ 研修が自分の保育の振り返る機会になり実践に役立てたい</li> <li>・ いろんな子どもがいる中で、わらべで何を大切にしていくのか確認していきたい</li> <li>・ 大学の先生を講師として研修して保育を共通理解してきた</li> <li>・ 各クラスでどんな保育、遊びがされているかを知りたい</li> </ul>	B	評価	A
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援の必要な子に対し対応できる 保育者の必要性を感じる</li> <li>・ 集団生活の中で個に合わせて先生が 協力して支援していると感じました</li> <li>・ 全職員で関りをもてるようにすることが大切 だと思います</li> <li>・ ジェンダーレスや特性を持った子どもが 増え社会全体の問題となっているが、時代に あった保育とわらべらしい変わらない保育を 進めていくことの大変さを感じた</li> <li>・ 専門機関と連携しながら全職員が共有できる ようにしてほしい</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者が研修を通して保育について考え向上 してくれていると思う</li> <li>・ 減災や保育についての研修を通して毎日の 保育に携わっていると感じた</li> <li>・ 研修体制を通して保育の共通理解をしている 為安心して通える幼稚園だと思いました</li> <li>・ 職員の一致した考えのもと保育にあたって 欲しいです</li> <li>・ わらべの保育を実現する上で研修は重要である と思うので今後も取り組んでいただきたい</li> </ul>	

6 家庭との連携・協力	(1) 家庭教育への支援機能の充実	子どもの発達や活動の様子を降園時や保護者面接・懇談会で伝えたりお便り・ボードなどで積極的に知らせている	自己評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園時に保護者に声をかけるようにしている</li> <li>・おたよりやノートで伝えながら保護者に様子を伝えている</li> <li>・懇談会で様子を伝えたり写真を見てもらったり成長を伝えている</li> <li>・1日が笑顔で終われるように保護者との会話を大切にしている</li> <li>・乳児は、毎日保護者と顔を合わせるので子どもの様子など伝えコミュニケーションをとるようにしている</li> <li>・気になる事などは保護者と目標を共有し話ができる関係を作れるようにしていきたい</li> <li>・疲れている様子の保護者に話しかけ気持ちをうけとめるようにしている</li> </ul>	B
7 近隣の園や小学校との連携	近隣の園との連携 小学校との連携を図る	近隣の園や小中学校との連携を図り、交流、情報交換を進める	自己評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の支援級の研修に行き様子が知ることが出来た</li> <li>・幼小ともに忙しく話をする機会を作る事の難しさを感じる</li> <li>・他園の保育を見る機会があると良いと思った</li> <li>・お散歩中に会える他の保育園の方たちと挨拶を交わしている</li> <li>・連携園の子どもたちとわらべランドや園行事で交流し情報共有をしている</li> <li>・今年度は少し学校の先生との情報共有などの時間があつた</li> </ul>	B
8 地域との連携	信頼される園づくりの推進 地域の方との交流を図る	地域住民や施設等とのかかわりを大切にしながら、園だけではできない体験をする機会を持つようにする	自己評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべランドで地域の参加者と交流できている</li> <li>・S型デイサービスに参加し高齢者と関わりを持っている</li> <li>・散歩など園外に出た際は、出会う人や地域の方に挨拶してコミュニケーションをとるようにした</li> <li>・散歩の山崎消防署で消防車や救急車に乗せてもらう体験ができた</li> <li>・地域の人にわらべを知ってもらえるように散歩で出会うと挨拶をするようにした来た</li> <li>・地域との交流を今後も大事にしていきたい</li> <li>・近所の方に魚や犬、猫などをみせてもらったりして関わりがあつた</li> </ul>	B

園関係者評価委員会から	
評価	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的に面談をすることで園や家庭での様子を共有する事ができた</li> <li>・子どもの気になる事など口頭やノートで相談し対応の仕方など一緒に考えてくれ心強く頼りにしている</li> <li>・降園時に子どもの様子を伝えてくれる</li> <li>・毎月の配信の写真アプリを通して子どもの様子が見れて嬉しい</li> <li>・毎日のノートのやり取りがありがたく思う</li> <li>・ノートでやり取りができる子どもの姿が知れ安心できる</li> <li>・保護者との関係性はわらべの保育目標を保護者に理解していただくために大切、各種の方法でコミュニケーションを絶やさないようにしてほしい</li> </ul>	
園関係者評価委員会から	
評価	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・服織地域の一員として地域子育て支援センター服織とも連携して活動をしている</li> <li>・他の小規模園や公立こども園、学校とも連携を密にできる関係を築いて欲しい</li> <li>・近隣の園や小中学校と交流することは大事だと思う</li> </ul>	
園関係者評価委員会から	
評価	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべランドに参加し楽しい時間を過ごせた友達もでき育児の悩みや情報交換をして良い機会だと思います</li> <li>・みんなで子どもを育てる気持ちの共有を望みます</li> <li>・S型デイサービスでの高齢者とかかわりや消防署など近隣の機関を大いに利用してほしい</li> <li>・園外での様々な人との交流、体験は子どもたちを成長させていると思う。今後も続けてほしい</li> </ul>	

園から 経営のまとめ(成果と課題)	園関係者評価委員会まとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言葉・思いに寄り添うことを大切にして子どもと関わるように心がけてきた</li> <li>・子どもの声にアンテナを張り生き生きと楽しみながら活動に取り組めるように取り組んできた</li> <li>・猛暑など環境の変化を受け入れながら、模索して、園生活が過ごせるようにしてきた</li> <li>・まある・アクアリウム・てん・動物園などの施設やいろいろな公園や広場・土手など園外の活動を楽しめるように取り組んできた</li> <li>・懇談・参観会・綾子遠足など実施し、保護者との交流も考えてやってきた</li> <li>・支援の必要な子への対応など専門機関とつながりながら支援方法など考え学び職員で共有するようになってきた</li> <li>・防災についても職員全員で、見直し、減災教育について考えてきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと楽しむ先生たちの姿を見ることが出来て良かった</li> <li>・日頃の保育や行事など子どもの声に耳を傾けてやりたい事を引き出してくれる保育が良い</li> <li>・子どもに寄り添って保育してくれていると思う</li> <li>・給食の進め方も子どもに合わせてくれているので、食への興味も見られる</li> <li>・幼稚園で子どもが食べている給食を味わえる機会を作ってもらいとどんなものを食べているのか、味の濃さ、メニューなど知ることが出来ると思う</li> <li>・安全面に気を付けながら園外保育など出来ている</li> <li>・先生の話に子ども達が耳を傾けている姿が見られる</li> <li>・支援の必要な子に対しての対応の難しさや大変さを感じる対応できる職員の必要性を感じた</li> </ul>
<h2>2 園関係者評価の意見を受けて(改善策)</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの思いに寄り添う事を大切にしながら成長に合わせた保育や環境設定をさらに考えていくようにする</li> <li>・支援の必要な子の対応を今後も専門機関と協力をしながら園全体で共有していく。また保護者との対応も丁寧に進めていく</li> <li>・子どもの人権を尊重して寄り添った保育を職員で考え話し合いながら進めていく</li> <li>・長い時間を過ごす園生活において一人一人の子が安心して過ごせる場になるように、またそれをベースとして好奇心や意欲などの生きる力を育てていけるようにする</li> <li>・保育の振り返りや研修などを通して自分の保育を振り返り次に活かせるようにしていく</li> <li>・畑の栽培やクッキングを通して食育活動を楽しみ食への関心につなげていく</li> <li>・乳児にとっては家庭的なあたたかな保育を目指していく</li> <li>・わらべの保育が地域の中で評価され、あそびの会の参加者や見学者が増えるようにしていく</li> </ul>	